

政策分析シート（平成28年度）

政策名	活気ある地域コミュニティの形成	政策No	10	部名	区民生活部			
				部長名	正木	内線 2531		
関連部名	総務企画部、子育て支援部							
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
目的	心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図るため、地域の活動拠点の整備を進めるとともに、地域コミュニティによる様々な活動を支援する。							
指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文			
		25年度	26年度	27年度				
	①	地域の人との交流の充実度	2.71	2.67	2.67	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？		
	②	地域に頼れる人がいる実感度	2.66	2.63	2.65	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？		
	③	文化的寛容性	2.71	2.57	2.60	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
	④							
	⑤							
	⑥							
標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み			目標値 (28年度)
	①	町会加入率(%)	60	63	63	63	64	加入世帯数/区内世帯数
	②	ふれあい館整備率(%)	65	65	65	65	65	整備箇所/数計画数(20館)
	③	青少年育成事業参加者数	48,206	53,006	55,784	56,000	56,500	各地区の青少年育成事業(こどもまつり等)の参加者数
	④							
	⑤							
	⑥							
⑦								
現状と課題 (指標分析)	<p>○人々の交流を活発にし、絆を強化することが心豊かで活力のある地域社会を形成するための重要な条件であり、その根幹を担うのが町会であるため、町会の活性化が課題である。</p> <p>○未整備ふれあい館整備に必要な用地(1,000㎡程度)の取得に向け、土地所有者への働きかけを行っている。ふれあい館は地域コミュニティの核であることから、各館のサービス内容の維持向上や適切な事業運営について、検証・評価・改善を行っていく必要がある。</p> <p>○社会を明るくする運動推進委員会、「あらかわの心」推進運動区民委員会、青少年育成地区委員会等の団体が、町会、学校、警察などの団体と連携を図りながら地域に根付いた活動を行っており、青少年健全育成活動の枠を超えて、地域見守り活動等の多面的な展開をみせている。</p> <p>○地域活動を行っている方々が全体的に高齢化、固定化しているなどの課題もあり、より円滑な事業執行を図るため、組織を活性化させる必要がある。</p>							
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○町会・自治会事業への積極的な支援を行い、町会・自治会の活動力を高めることにより、地域力の向上を図り、町会加入率の向上をめざす。</p> <p>○「ふれあい館整備ニュープラン」に定める20館構想のもとに、未整備館の早期実現に向けて努力するとともに、指定管理者への的確な指導・監督、地域や関係各課との連携強化により、ふれあい館事業の更なるレベルアップを図る。</p> <p>○地域の方々为主体となり展開している活動は地域コミュニティを活性化する上で重要であり、今後も活動が発展していくよう効果的に支援を行う。次世代の地域リーダーの育成にも努める。</p> <p>○平成28年3月に策定した「平成28年度・29年度荒川区青少年健全育成基本方針」に基づき、各青少年育成地区員会、町会、関係機関等と連携をとり、荒川区の特色を活かした青少年健全育成活動を実施していく。</p>							

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	28年度設定	29年度設定	
コミュニティ活性化の推進	重点的に推進	重点的に推進	ひろば館に代わり地域コミュニティの活動拠点となる新たなふれあい館の整備が求められている。また、さらなる地域力の向上のためにも、町会組織の充実が必要不可欠である。
青少年健全育成運動への支援	推進	推進	青少年育成運動は、地域に定着し、活気ある地域コミュニティを形成するうえで必要不可欠な施策となっている。防災、防犯、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、区として積極的に推進していく必要がある。
人権・平和の普及啓発	推進	推進	人権・平和・男女共同参画について、広く区民に普及・啓発していく。